

Tama Beer



50年に想いをよせて。さあ、
たまをのもう

多摩市は50歳になりました。次の50年、今までにない新しい魅力がある街にする試みの一つとして、クラフトビールを作りました。多摩市の多くの飲食店にクラフトビールを置いてもらい、外から来てくれた人へ、「多摩市の飲食店にはほとんどの店でクラフトビールが飲めるから、すごくいいよね!」と褒めてもらえるような街にできればと思います。

多摩市にクラフトビールの文化を根付かせるために、まずは、「TAMA-BASE BEER」というブランドビールを作成することになりました。多摩市ができる前から、この地であり、今もなお人気を誇る「小山商店」さんに、まずは相談しました。そして、クラフトビールも作る蔵元「石川酒造」さんを紹介していただく。石川酒造さんは「多摩の風み」というブランドで、クラフトビールをリリースしており、World Beer Awardsというコンペティションで、入賞するくらい、ビールに力を入れています。小山商店と石川酒造という多摩地域では最強のパートナーを得て、オリジナルビール作りのプロジェクトが始動。

第1弾として、イングリッシュペールエールというスタイルのビールを選択。イングリッシュペールエールは、麦本来の甘さやコクを最大限に引き出すスタイル。ビール単体でゆっくり味わうのもよし、食事とのペアリングを楽しむのもよし、「TAMA-BASE BEER」のコクや甘さが料理の味にプラスされ、よりおいしさを際立たせます。

ボトルデザインは、多摩市の風景をもとにしたオリジナルラベルを作成。多摩市市制50周年の記念日である2021/11/1に先立ち、10月に販売開始します。

多摩市市制施行50周年記念事業

50 TAMA CITY
くらしたのいたまし

TAMA-CITY 50th ANNIVERSARY
Tama Base Beer

お問い合わせ先 : tamabasebeer@gmail.com 小売価格: 500円(税別)

お酒を通して、新たな多世代コミュニティをつくり
多摩市の文化として根付かせたい。

多摩市ができる前からこの地にあり、
今もなお人気を誇る「小山商店」さんにまずは相談し
そしてクラフトビールも作る蔵元「石川酒造」さんに醸造を依頼しました。

第1弾として、イングリッシュ系のペールエールを、リリース。
麦本来の甘さやコクを最大限にひきだすスタイルとなります。
ボトルデザインは、多摩市の背景をベースにしたオリジナルラベルを採用。

